



サーバ障害のトラブルシューティング

- プロセスのメモリ割り当ての特定 (1 ページ)
- プロセスの CPU 使用率の特定 (2 ページ)
- モニタリング プロセスのコア ファイル (3 ページ)
- クラッシュ コア ファイルの処理 (3 ページ)
- コアのクリア (4 ページ)
- コア ファイルの自動コピーのイネーブル化 (4 ページ)

プロセスのメモリ割り当ての特定

メモリ内の各プロセスの割り当て、制限、メモリ割り当て、および使用状況を特定できます。次は **show processes memory** コマンドからの出力例です。この出力は、例を簡潔にするために省略されています。

```
switch# show processes memory
```

PID	MemAlloc	MemLimit	MemUsed	StackBase/Ptr	Process
1	159744	0	2027520	ff808d30/ffffffff	init
2	0	0	0	0/0	kthreadd
3	0	0	0	0/0	migration/0
4	0	0	0	0/0	ksoftirqd/0
5	0	0	0	0/0	watchdog/0
6	0	0	0	0/0	migration/1
7	0	0	0	0/0	ksoftirqd/1
8	0	0	0	0/0	watchdog/1
9	0	0	0	0/0	migration/2
10	0	0	0	0/0	ksoftirqd/2
11	0	0	0	0/0	watchdog/2
12	0	0	0	0/0	migration/3
13	0	0	0	0/0	ksoftirqd/3
14	0	0	0	0/0	watchdog/3
15	0	0	0	0/0	migration/4
16	0	0	0	0/0	ksoftirqd/4
17	0	0	0	0/0	watchdog/4
18	0	0	0	0/0	migration/5
19	0	0	0	0/0	ksoftirqd/5
20	0	0	0	0/0	watchdog/5
21	0	0	0	0/0	migration/6
22	0	0	0	0/0	ksoftirqd/6
23	0	0	0	0/0	watchdog/6
24	0	0	0	0/0	migration/7

プロセスの CPU 使用率の特定

```

25      0  0      0      0/0  ksoftirqd/7
26      0  0      0      0/0  watchdog/7
27      0  0      0      0/0  events/0
28      0  0      0      0/0  events/1
29      0  0      0      0/0  events/2
30      0  0      0      0/0  events/3
31      0  0      0      0/0  events/4
32      0  0      0      0/0  events/5
33      0  0      0      0/0  events/6
34      0  0      0      0/0  events/7
35      0  0      0      0/0  khelper
36      0  0      0      0/0  netns
37      0  0      0      0/0  kblockd/0

```

この項で説明している **show processes memory** コマンドには、次のキーワードが含まれます。

キーワード	説明
>	出力をファイルにリダイレクトします。
>>	出力が既存のファイルに追加されます。
shared	共有メモリ情報を表示します。

プロセスの CPU 使用率の特定

メモリ内で実行中のプロセスの CPU 使用率を特定できます。次は **show processes cpu** コマンドからの出力例です。この出力は、例を簡潔にするために省略されています。

```
switch# show processes cpu
```

```
CPU utilization for five seconds: 0%/0%; one minute: 1%; five minutes: 2%
```

PID	Runtime(ms)	Invoked	uSecs	5Sec	1Min	5Min	TTY	Process
1	28660	405831	70	0.00%	0.00%	0.00%	-	init
2	21	1185	18	0.00%	0.00%	0.00%	-	kthreadd
3	468	36439	12	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/0
4	79725	8804385	9	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/0
5	0	4	65	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/0
6	472	35942	13	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/1
7	33967	953376	35	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/1
8	0	11	3	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/1
9	424	35558	11	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/2
10	58084	7683251	7	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/2
11	0	3	1	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/2
12	381	29760	12	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/3
13	17258	265884	64	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/3
14	0	2	0	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/3
15	46558	1300598	35	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/4
16	1332913	4354439	306	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/4
17	0	6	2	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/4
18	45808	1283581	35	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/5
19	981030	1973423	497	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/5
20	0	16	3	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/5
21	48019	1334683	35	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/6

22	1084448	2520990	430	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/6
23	0	31	3	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/6
24	46490	1306203	35	0.00%	0.00%	0.00%	-	migration/7
25	1187547	2867126	414	0.00%	0.00%	0.00%	-	ksoftirqd/7
26	0	16	3	0.00%	0.00%	0.00%	-	watchdog/7
27	21249	2024626	10	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/0
28	8503	1990090	4	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/1
29	11675	1993684	5	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/2
30	9090	1973913	4	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/3
31	74118	2956999	25	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/4
32	76281	2837641	26	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/5
33	129651	3874436	33	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/6
34	8864	2077714	4	0.00%	0.00%	0.00%	-	events/7
35	0	8	23	0.00%	0.00%	0.00%	-	khelper
36	234	34	6884	0.00%	0.00%	0.00%	-	netns

show processes cpu コマンドには、次のキーワードが含まれています。

キーワード	説明
>	出力をファイルにリダイレクトします。
>>	出力が既存のファイルに追加されます。
history	CPU の使用状況に関する情報を表示します。
sort	メモリ使用量に基づいてリストをソートします。

モニタリング プロセスのコア ファイル

show cores を使用してプロセス コア ファイルをモニタできます。 コマンドを使用する必要があります。

```
switch# show cores
Module Instance Process-name PID Date (Year-Month-Day Time)
-----
28 1 bgp-64551 5179 2013-11-08 23:51:26
```

出力には、現在アクティブなスーパーバイザからアップロードできるすべてのコアが表示されます。

クラッシュ コア ファイルの処理

クラッシュ コア ファイルを処理するには、**show processes log** コマンドを使用します。

```
switch# show process log
Process PID Normal-exit Stack-trace Core Log-create-time
-----
ntp 919 N N N Jun 27 04:08
snsm 972 N Y N Jun 24 20:50
```

コアのクリア

clear cores を使用してコアをクリアできます。 コマンドを使用します。

```
switch# clear cores
```

コア ファイルの自動コピーのイネーブル化

システム コアを入力できます。 コマンドを使用して、TFTP サーバ、フラッシュ ドライブ、またはファイルへのコア ファイルの自動コピーを有効にします。

```
switch(config)# system cores tftp://10.1.1.1/cores
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。